

## 「高松赤十字病院紀要」投稿規定

本誌は医学・医療に関する原著、臨床研究、症例報告、高松赤十字病院医学会発表抄録、職員対象講義記録、CPC 記録等で未発表のものを掲載し、年1回発行する。

### [投稿資格]

投稿は高松赤十字病院勤務者および関係者に限る。ただし、図書・紀要作成委員会から依頼したものはこの限りでない。

### [原稿の様式]

1. 原稿は Microsoft 社の Word で作成し、フォントは MS 明朝を用いる。また、句読点は「,」「.」（全角）を用いる。
2. A4判用紙に横書きで1頁あたり全角40字×20行とする。
3. 論文の長さは図・表・写真を含め、原著30枚以内、臨床研究・症例報告15枚以内とする。
4. 医学用語は学術用語集に従う。
5. 略語を使用する場合は、初出時に正式名称と略語の両者を記載する。
6. 原稿の構成は、次のようにする。
  - 1) 表紙：題名、著者名、所属
  - 2) 要旨：400字以内  
キーワード：3～5個、医学中央雑誌刊行会の「医学用語シソーラス」に準拠する
  - 3) 本文：次の順に記載する  
原著、臨床研究：はじめに、対象・方法、結果、考察、おわりに  
症例報告：はじめに、症例、考察、おわりに
  - 4) 引用文献：文献は、本文の引用箇所<sup>1), 2)</sup>のように肩番号を付す  
著者（初出の3名まで記載し、以下は和文では他、英文では et al とする）  
再現性、責任の所在などが不明となる可能性があるウェブサイト上の資料は文献として用いないことが望ましい  
雑誌の場合：雑誌名は医学中央雑誌、Pub Med に従う  
著者名：表題、雑誌名、巻：始頁－終頁、発行年（西暦）。  
例 1) 守口将典, 大野泰裕, 小牧克守, 他：気腫性腎盂腎炎を合併した未治療2型糖尿病の1例. 糖尿病 50 (6) : 399-402, 2007.  
2) Aydin S, Isikligil I, Teksen YA, et al: Recovery of orbital fat pad prolapsus and deepening of the lid sulcus from topical bimatoprost therapy: 2case reports and review of the literature. Cutan Ocul Toxicol 29 (3) : 212-216, 2010.  
単行本の場合：著者名：章の見出し、書名、編者名、版次：始頁－終頁、発行所、発行地、発行年（西暦）。  
例 3) 小路美喜子：周手術期間後の概論. 臨床外科看護概論：259, 医学書院, 東京, 2009.  
Web ページ：サイト名、タイトル、URL [アクセスした年月日]  
例 4) 日本小児科学会, インフルエンザ脳症ガイドライン,  
<http://www.jpeds.or.jp/influen-za/influenza090928.pdf>  
[accessed 2011年5月10日]
7. 図(写真)・表は別に添付し、それぞれの表題は、図(写真)は下方に、表は上方に記す。本文中にその挿入場所を指定すること。

8. 紀要は原則として白黒印刷とする。カラー印刷を希望する場合は実費を著者負担とする。

#### [原稿の提出]

1. 原稿は電子媒体で提出する。
2. 投稿原稿の採否と掲載順序は編集部会の査読により決定する。なお査読により、原稿の加筆訂正を求めることがある。
3. 校正は著者が行う。なお、用語・仮名遣いは全体の統一のため編集部会で訂正することがある。
4. 本紀要に掲載された論文の著作権は、高松赤十字病院に帰属する。
5. 本紀要に掲載された著作物は、電子化し赤十字リポジトリで公開する。

#### [注意事項]

1. 同趣旨の論文を他誌に掲載あるいは投稿していないこと。
2. 倫理上の問題がないこと。
3. 法規に従い、個人を特定できる情報は記述を避けること。
4. 共同執筆者（共同研究者）の了承を得ていること。
5. 他者の作成した図表の引用など著作権に関わる場合は、著作権者（学会、出版社など）に転載の許諾を得ること。
6. 利益相反状態が存在しないこと。

#### [提出先]

〒760-0017 香川県高松市番町4丁目1番3号  
高松赤十字病院医療業務推進課 気付  
高松赤十字病院図書・紀要作成委員会  
E-mail kiyo@takamatsu.jrc.or.jp

※「投稿論文チェックリスト」を原稿に添えて提出してください。

2018年7月1日改訂

# 投稿論文チェックリスト

(各事項を確認して、当てはまる□内にレ点を記入してください)

- 同趣旨の論文を他誌に掲載あるいは投稿していない。
- 倫理上の問題はない。
- 法規に従い、個人情報 は匿名化している。
- 共同執筆者（共同研究者）の了承を得ている。
- 他の著作物の著作権を侵害していない。
- 利益相反状態は存在しない。

上記の内容につき、確認しました。

平成 年 月 日

氏名

印